

中央大学リーガル・キャリア・サポート委員会主催  
業務・採用等説明会（2014年5月26日開催）

### 「上場企業の人事が語る法務担当を採用する企業側の選考のポイント」

中央大学法科大学院では、リーガル・キャリア・サポート委員会を組織し、在学生・修了生のみなさんに対して進路決定・就職に関するサポートを行っています。

今回は、「上場企業の人事が語る法務担当を採用する企業側の選考のポイント」というタイトルで、民間企業等への就職活動の際、採用する側はどのような視点で採用試験をおこなっているかについて、都築電気株式会社管理本部担当部長の平澤徹さんにお話を伺いました。平澤さんは、中央大学の学部生の就職においても、セミナーの講師等を長年お願いしていることもあり、多くの学生と接してきた就職支援のベテランでもあります。

法科大学院の修了生の多くにとって、就職活動は未知の領域でもあり、エントリーシートを書いた経験がない、面接を受け



たことがないまま今に至り、社会に出るにあたって、何を考え、何をすべきかわからない場合があります。そのヒントになるように、採用側の視点を教えていただきました。



生涯賃金が3億円から5億円といわれる中、ミスマッチ社員を採用することで、企業は多大な損失を被ることになると同時に、採用された本人にとっても不幸な結果を招いてしまうことから、企業は真剣に採用活動をしていることを話されました。



続いて、企業はもとより、さまざまな進路にて求められる普遍的な人材像として、「挨拶やこころ配りができる基本が備わっていること」、「意欲的で向上心があること」、「強みを明確に持ちそれを表現できること」、「自分の力量を把握しそれを活かせること」、「振り返る勇気をもっていること」等々、

その他にも多くの視点を披露していただきました。

最後に、エントリーシート作成における留意点や普段の生活態度と面接との一体感の重要性等いくつかのアドバイスが伝えられ、また、「就活とは、企業が学生を選ぶのではなく、学生が自分にあった企業を選ぶこと」、さらに「最後まで自分を信じること」とのメッセージがあり、法科大学院修了生を応援してくださっているという思いを感じました。

リーガル・キャリア・サポート委員会では、今後も講演会等のイベントを実施していきます。在学生また修了生のみなさん、積極的にご参加ください。